

2015/4/24

平成26年度廃棄物資源循環学会関東支部講演会・研究発表会
(第6回関東支部セミナー) 開催報告

平成27年3月20日(金)早稲田大学西早稲田キャンパスにて講演会・研究発表会を開催しました。本講演会および発表会は、支部会員同士の交流ならびに学生、若手研究者の研究発表の場を提供することを目的として開催しました。

第1部では講演会とし、はじめに早稲田大学教授の大和田先生より「資源循環を支える粉砕・選別技術の将来像」と題してご講演いただきました。続いて、関東支部に所属する大学・研究機関および民間企業を代表して3機関から研究活動紹介が行われました。講演会には50名を越える方のご参加を頂きました。

第2部では研究発表会として学生や若手研究者によるポスター発表が行われ、その後第3部では意見交換会を催しました。

<講演会>

講師の大和田先生から、はじめに種々の廃棄物破碎・選別技術を体系的に紹介があり、資源循環における廃棄物破碎技術と選別技術の高度化の必要性についてご示唆がありました。現在のような様々な素材が含まれている廃棄物中から資源回収を行うためには、廃棄物中の異相境界面での高精度分離が求められており、物理的および電氣的な破碎技術の研究が進められていること、また選別技術としては透過X線ソータと蛍光X線ソータの組み合わせによる、アルミ素材の水平リサイクル技術について説明がありました。更なる高精度ソータの開発状況についても触れられ、高精度の破碎技術と組み合わせることで固相分離技術が確率的分離ではなく選択的分離が可能になり、近い将来省エネルギー型資源循環プロセスを構築されうるとのお話でした。

講演後の質疑応答では、破碎技術のメカニズム等について活発な議論が行われました。

次に研究活動紹介として、早稲田大学香村研究室、新日鉄住金エンジニアリング株式会社、埼玉県環境科学国際センターの3件の発表が行われました。大学、民間企業そして地方研究所の幅広い分野の若手研究者・実務者から、それぞれの組織や研究内容等の紹介がなされました。



大和田教授による講演

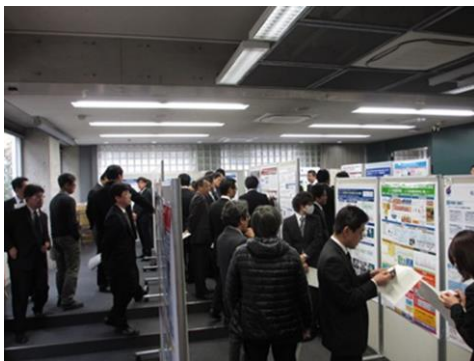


講演会会場の様子

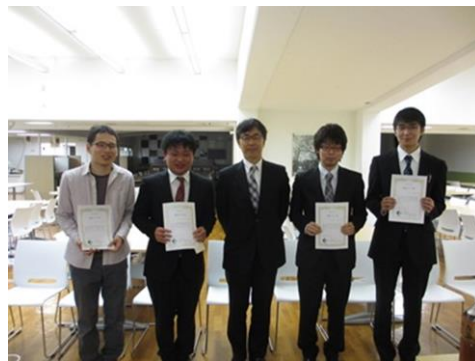
<研究発表会>

講演会后、ポスター研究発表が催されました。学生発表20件、社会人発表11件、計31件の研究発表がなされました。研究発表は1部45分の2部構成とし、発表者もほかの研究発表者との交流が持たれ、学生をはじめ多くの参加者が活発な議論をしている様子が見られました。研究発表会会場には企業展示ブースを設け、6件の企業・団体の出展をいただきました。企業展示では各社特色ある展示がなされ、学生だけでなく社会人も熱心に話し込んでいる様子がみられました。

意見交換会には多くの学生の参加があり、学生からも積極的な意見交換が行われていました。最後に支部長より、6名の発表者に優秀ポスター賞の賞状が授与（意見交換会欠席者には後日授与）されました。



ポスター発表会場の様子



意見交換会席上での優秀ポスター賞授与

おわりに

講演会および研究発表会には、大学や研究所等の研究機関のみならず、廃棄物に関わる民間企業など、実業分野も含めた幅広い参加者を得ることができました。今年度から設けました企業展示では企業・団体様からご協力を頂き、参加者にとっては実験的研究から実務技術まで幅広い研究観点および人材交流をもつ機会になったことと思います。研究発表会では、学生や若手の研究者にとって発表経験を積む良い機会であるとともに、優秀賞を受賞された方は、研究のモチベーションアップにつながったことと思います。次年度も同様の発表会を開催していく予定ですので、皆様の積極的な参加、発表をお願い申し上げます。

最後に研究発表会および講演会の開催にご尽力いただいた早稲田大学の和田大教授、香村教授にこの場を借りて御礼申し上げます。

関東支部支部長 大迫政浩

関東支部セミナー運営担当

溝田健一、池本久利、大久保伸、村上英明、鈴木和将、落合知